

編集後記

本号の編集後記を書こうと思ってワープロに向ったとき、まず心にうかんだのは、本年度の日本リハビリテーション医学会で、ようやく本医学会が法人化の運びになったという慶びがじつと心の底からにじみでてくるのをリハビリテーション医療に関係する読者諸兄姉にも解っていただきたいということである。

学会総会で津山直一理事長が日本リハビリテーション医学会の誕生から今日に至るまでの歴史、現在当面する問題、また、21世紀へ向っての学会の“公正な運営”方法など、津山先生の熱情溢れるお言葉は出席したものの全員に深い感銘を与えた。

考えてみれば、総合リハビリテーション誌も過去17年間にわたり、わがくにのリハビリテーション医学の発展に貢献してきており、これからも、より一層の学問的内容のある雑誌として伸ばしていこうと、編集子一同気持を新たにしているところである。

さて、本号の特集は“脳卒中リハビリテーションにおける評価”であり、まず、才藤、他により脳卒中の機能・能力障害の評価法が多数の文献をもとに概観され、運動機能

評価に偏重しがちな現状から電気生理検査など、より客観的な評価法などを将来的にとり入れるべきことなどを提唱し、筆者も共著者として言いにくいことであるが、なかなか示唆にとむ内容と考える。石神氏、他による高次脳機能に関する評価法は、その複雑さとあわせて、今まで余りにも安易に失認とか失行とか診断しすぎたきらいがあることに警報を発するものである。里宇、他の呼吸機能評価、鈴木氏、他の歩行能力評価も、その問題点や研究の方法論など、今後積極的に取り上げていかなければならないテーマとして、脳卒中患者のもつリハビリテーション上の奥深さを暗示するものである。

研究と報告欄では期せずして、大腿骨の骨頭壊死と頸部骨折に関する興味ある演題が載っており、また、講座ならびに一頁講座とあわせてじっくり読みごたえのある内容になった。

日本リハビリテーション医学会も終ったことであり、発表された業績をどしどし文章にされ、投稿されんことを期待する次第である。
(千野 直一)

総合リハビリテーション (第17巻 第7号)

1989年7月10日発行 (毎月1回10日発行)

1部定価 1,803円 (本体1,750円)

(配送料60円)

〔年ぎめ予約購読料 20,518円
(本体19,920円) (送料弊社負担)〕

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当：山田・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株)：電話 (03) 637-0005

広告申込所 (株)東広社：電話 (03) 409-8803

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一 郎
五 味 重 春
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
岩 倉 博 光
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 歆
長 谷 川 恒 雄
初 山 泰 弘
福 井 圀 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1989, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。